

新年、明けましておめでとうございます。

皆様のご支援をいただき、議員として3度目の正月を迎えました。働く仲間の代表として住みやすい小山市づくりをめざし、頑張っておりますので、よろしくお願ひ致します。

平成17年度第6回小山市議会定例会が12月1日から22日の日程で開催されました。本議会に上程された議案は、小山市総合計画基本構想、平成17年度小山市一般会計等補正予算7件、指定管理者の指定6件、条例の制定1件および一部改正6件等、議案34であり全議案が原案通り可決されました。



9月議会の主な議案

小山市総合計画基本構想について

小山市では平成32年を展望して、今後の本市の進むべき方向とその実現に必要な施策展開の基本姿勢を明らかにした『小山市長期ビジョン』を市政運営の基本として、新しい視点に立った『小山市総合計画』を策定しました。

平成18年から22年までの5年間のまちづくりの理念を提示するとともに、将来において目指すべき市の将来像を描き、10年、15年先の長期的視点を見据えた、行政運営の指針となる小山市総合計画基本構想を策定します。

そして、この基本構想を着実に実現していくために、平成18年から22年までの5年間の基本計画をたて、さらに2年ごとに実施計画を策定し、具体的な事業を定めていきます。

小山市いきいきふれあいセンター条例の一部改正について

同和対策集会所として設置した、小山市立寒川集会所を廃止し、同所をいきいきふれあいセンター寒川として整備することになりました。小山市同和対策集会所は市内に14箇所設置され、地域活動の場として提供されてきましたが、寒川地区は近くに中里集会所があること、集会所としての利用が少ないことなどを理由に、これからはいきいきふれあいセンターとして高齢者の介護予防対策等の活動の場として利用されることとなります。

いきいきふれあいセンターは、市内全14箇所に整備中の事業であり、現在10箇所が整備されており、多くの地域高齢者に利用されています。

小山市営自動車駐車場の設置等に関する条例の一部改正について

小山駅東口整備事業用地の暫定利用として設置している小山市営小山駅東口駐車場を当該事業の進捗により、取得目的である代替地として使用することに伴い、駐車場を廃止することになりました。今後は、駅前広場の代替地としては白鷗大学の用地となる。

尚、駐車場については、現在駅東口ロータリー部分に立体駐車場として設置します。

小山市学童保育館の指定管理者の指定について

現在、小山市が設置している14の学童保育館の管理を『間々田小』『間々田東』『小山第三』『間々田小第二』の4箇所を小山市学童保育連絡協議会に、『小山第一』『小山城南』『小山城北』『若木』『小山城東』『大谷東』『大谷北』『乙女』『羽川』『羽川西』の10箇所をそれぞれの単位学童保育クラブに指定管理者を指定することとした。学童保育クラブは共働き家庭や、ひとり親家庭の子供たちが放課後を過ごす大切な場であり、安全が第一である。今後も保護者や指導者が安心して子供たちを守っていただけるような支援をしていかなければならない事業であり、議会でも注視していきたい。

小山市営小山駅西駐車場及び小山中央公共駐輪場の指定管理者の指定について

小山市営小山駅西駐車場と小山中央公共駐輪場の指定管理者の公募を行ったところ、2社の応募があり選定の結果、小山都市開発株式会社に決定した。小山都市開発株式会社については、小山市助役が代表取締役を勤める会社あり、指定期間は5年間となっている。

道の駅思川の設置及び管理に関する条例

平成18年4月29日オープンを目指し、道の駅が整備されている。その道の駅の設置と管理に関する条例を制定することとなった。道の駅については、第三セクターを設立し直営による経営が予定されていたが、直売部門が農協へのテナントに変更、加工部門が一部テナントに変更、レストランが市内企業へのテナントに変更されるなど、当初の計画がことごとく変更されていることなど多くの課題を抱えたままの発信となる。また、平成17年秋のプレオープンが地元農家から要望されていたが工事中のため危険であることから、来春のグランドオープンを目指すことになった。いずれにしても、赤字が出れば、小山市の負担となることからしっかりと経営を望みたい。

思川周辺整備について

- Q：多くの市民がサイクリングロードの整備を望んでいる。思川堤防上の桜堤を上流から下流まで走れるサイクリングロードの整備の進捗について聞きたい。
- A：県が渡良瀬遊水地壬生自転車道整備事業として整備を進めている。今後とも、県に対して要望を続けていく。
- Q：桜の里親の皆さんが、その桜堤を散策するための遊歩道の整備状況について聞きたい。
- A：桜堤実施箇所3.1kmのうち、1.1kmが砂利道のままととなっている。トイレ、ベンチの整備とともに、未舗装区間の整備について県と協議していく。
- Q：八幡町内に思川への通路があるが、ゴミ捨て場ともなっている。転んでケガをした人がいると聞くが、多くの市民が思川への通路として利用できるように危険がないように整備できないか。
- A：階段の改修など危険性や不便さの解消に向けて関係機関と協議し、改善方法を検討していく。

安全・安心な街づくり

- Q：国道や県道などの幹線道路から、学校や公園の入り口に避難場所の入り口であることを示す看板を設置することはできないか。
- A：避難場所のチラシ配布、防災マップの全戸配布を進める。避難場所への誘導案内板の設置についても調査研究していく。
- Q：夜間、暗がりでは発生する犯罪から我々を守ってくれるのが防犯灯である。防犯灯の設置は自治会で行くと理解しているが、その設置数は年間どれくらいあるのか。
- A：防犯灯の設置は、年間100件前後である。防犯灯の設置については、自治会及び市民の皆様のご意見、相談に積極的に対応していく。

教育行政について

- Q：小山市では平成18年より、小中学校の夏休みを4日間、冬休みを2日間削減し授業時数を確保することを決定した。週5日制の導入から現在まで、様々な議論を重ねてきたと思うが、これまでの経緯と今回の施策の基本的な考え方について聞きたい。
- A：背景には学校週5日制による授業日数の減少、H15年12月の学習指導要領の一部改正により学習指導要領にとらわれず発展的な内容も指導可能となったこと、H15年10月の中教審答申で、授業時数を形式的でなく実質的に確保することなどがあげられたことがある。また、ねらいとしては学力向上を図ること、ゆとりの中で生きる力をはぐくむ教育課程を実現することなどが挙げられる。
- Q：今回の削減で生み出した6日間をどのように使うのか。教育委員会として具体的な利用を考え学校へ指示するのか、それとも各校へ全面的に利用方法を任せてしまうのか聞きたい。
- A：学校、学年によって状況が異なるため、教育委員会から一様に基準を示すのではなく、学校裁量とした。また、暑さ対策については、各校が創意工夫することとしたが、普通教室への扇風機の設置についても計画的に進めていきたい。
- Q：e-JAPAN重点計画-2004の中に学校教育の情報化があり、2005年度までに公立小中高等学校等のIT環境を整備するとしている。現在、小山市内の小中学校におけるIT環境整備がどこまでできているのか、聞きたい。
- A：H13年から17年までの5ヵ年計画で整備してきた。中学校については、H17年度までにコンピュータ室の1人1台設置、特別教室などの6台設置、プロジェクターなど周辺機器の整備、高速インターネットへの切り替え、校内LANの整備を行ってきた。H18年度から小学校コンピュータ室の整備を進める予定である。また、普通教室のコンピュータについてはノートパソコンを全小中学校に各6台導入し、校内LANを活用していく。

道路行政について

- Q：市道15号線において新国道4号線西側の一部に歩道未整備箇所がある。多くの市民が危険を指摘しているが、なぜ、あの部分だけが整備できずに残っているのか。聞きたい。
- A：この未整備区間は昭和62年度から平成5年にかけて実施した国庫補助市道15号線改良事業で用地買収できず、未整備となっている。この用地は3筆からなり、1筆が1名の名義で他の2筆は共有名義となっている。用地買収についてはその後も交渉を続けてきたが様々な条件で折り合いがつかず、買収に至っていない。しかし、市道15号線は東西を結ぶ重要な路線であり、今後も利用度が増していくものと考えているので、引き続き地権者との交渉を続けていく。

公用車の取り扱い

- Q：公用車への表示を『小山市』だけでなく、部名・課名を入れることで、職員が一生懸命に仕事をしていることが市民に理解されると思う。実施する考えはあるか。
- A：マグネット等を利用した課名表示板を作成し、公用車に表示したいと考えている。

次回の議会は2月23日から3月20日の日程で開催されます。

ぜひ一度、議会の傍聴をお願いいたします！

行政チャンネル(5ch)でも生放送・再放送(土・日曜)します。